

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会  
第6回総会 摘録

日時：令和7年3月24日（月）10時30分～12時00分

場所：川崎商工会議所KCCIホール

## 1 開会

### ○司会（富士通・松本）

これより「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会 第6回総会」を開催いたします。

私、本日、司会を務めさせていただきます、富士通株式会社 松本と申します。「川崎をもっと知って、関わって、好きになる」、おとしからスタートしたこの100周年記念事業を通して、まさに好きになった自分を実感しております。いよいよフィナーレを迎えますが、皆様、最後まで楽しみながら盛り上げてまいりましょう。

開会にあたり、会長である福田紀彦川崎市長より、御挨拶いただきたくと存じます。福田会長、よろしく願いいたします。

## 2 会長挨拶

### ○川崎市長：福田 紀彦 会長

皆さん、おはようございます。大変お忙しい中、実行委員会に御出席いただきましてありがとうございます。

今、司会の松本さんからお話いただいたように、第1回目が2022年9月という事で、2年半前に第1回目が行われました。

あの当時は276団体、企業の皆さんで始まったのですが、この間、日を追うごとに実行委員会のメンバーが増えていきまして、今日は397団体が御参加いただいているということで、あれからも120団体くらい増えているということでありまして、本当に皆さんが関わりを増やしていった、仲間を増やしていただいていたおかげで、多くの皆さんが改めて川崎を「知って」、そして、「関わって」、巻き込んでいただいて多くの市民の皆さんが「好きになった」ということだと思います。

ニュースでも度々報道されておりますのでご存じかもしれませんが、川崎の事が好きになったという、いわゆるシビックプライド指標が上がっています。

川崎市外の近隣都市から見ても川崎というのは、いいまちだと思っただけの方たちというのが爆上がりしております、これも全てここに集まっていた皆さんがそれぞれに、あるいは連携して「コト」をつくり、そして、巻き込んでいただいたということが全てだと思います。

100周年の記念事業として「全国都市緑化かわさきフェア」の春開催も一昨日から始まりましたけれども、秋にも増してスタートダッシュがいいような感じがいたします。

ぜひこの期間4月13日までになりますけれども、今日もここに御出席の皆さんの中で80人くらいがガイドツアーにも参加していただくということですが、ぜひ最後の最後まで御協力いただきたくと思いますし、そして、なによりも大事なのが、年度が終わると全てが終わるという

ことではなくて、これからが本当に大切と、101年目の新しい川崎をこれからもレガシーとして、しっかりとつくっていくという、そういうための今日は御審議をいただきたいと思っております。

「Colors, Future! Actions 推進ビジョン」というものを立てて、これからも継続的に、ここから下がるのではなくて、ここをベースにして上げていこうということでもありますので、どうかこの仲間、つくり上げてきた連携という文化を101年目からも続けてまいりたいと思いますので、どうぞ今日は充実した御審議の程よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

#### ○司会（富士通・松本）

福田会長、ありがとうございました。

### 3 副会長・顧問御紹介

#### ○司会（富士通・松本）

続きまして、本日出席の副会長の御紹介をさせていただきます。

#### ～副会長紹介～

- ・川崎市議会議長：青木 功雄 副会長
- ・川崎商工会議所会頭：草壁 悟朗 副会長
- ・都市緑化機構理事長代理：専務理事 椰野 良明 様
- ・川崎市全町内会連合会 会長：持田 和夫 副会長
- ・川崎市総合文化団体連絡会 理事長：中村 紀美子 副会長
- ・川崎市副市長：加藤 順一 副会長
- ・川崎市副市長：藤倉 茂起 副会長
- ・川崎市副市長：三田村 有也 副会長

#### ○司会（富士通・松本）

- ・続きまして、御臨席いただいている顧問の方を御紹介させていただきます。

#### ～顧問紹介～

- ・国土交通省都市局長 代理 国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長：望月一彦 様
- ・国土交通省関東地方整備局長 代理 国土交通省関東地方整備局建政部長：市川 智秀様
- ・東京理科大学栄誉教授：藤嶋 昭 様
- ・東京都市大学環境学部特別教授：涌井 史郎 様

#### ○司会（富士通・松本）

また会場には、川崎市議会の岩隈千尋副議長にお越しいただいております。

役員を代表いたしまして、川崎市議会議長の青木功雄副会長より、御挨拶いただきたいと存じます。

### 4 副会長挨拶

#### ○川崎市議会議長：青木功雄 副会長

おはようございます。御紹介いただきました、川崎市議会議長の青木です。

おとといから「全国都市緑化フェアの春」も開催されて、ちょうど来たら、今、福田市長が、

「バッチがピンク色で一足早く桜が咲いたんですね」みたいな話をされていて、非常にいい天候でスタートしたのかなと思います。

皆さん、お仲間は2年前と比べてできましたでしょうか。この2年間でこれだけ大きい都市がありますが、先ほど福田会長から話があったとおり、397団体と、もう2年前から含めて、2年前がここに書いてあるのが276団体ですから、この2年間だけで始まるまでも皆さん、ずいぶんと御用意いただきましたけれども、たった2年間だけでも、121団体もお仲間が増えた計算でございます。

なかなか大きいまちだと一体になるというのは非常に難しいなと思いますが、それぞれ色々思いがある中に、この100周年、そして、全国都市緑化フェアを川崎のためにつなぐ力を大事にして盛り上げていただいたのだなと思いますと、本当に心から感謝申し上げたいと思います。

総会でございますので、最後に一つだけ、先日、この総会の前に100周年の担当の課長さんが色々説明に来てくださいました。そのときに、「その話、僕がするよ」みたいな話をしたんですけども、「これから、じゃあ、101年目、102年目、どんな事をやっていくの？」みたいな話になったときに、「議長ね、あまりレガシーのためのレガシーづくりは私たち行政からしていこうとは思っていません」と。「それじゃなくて、この2年間、そういうつながった仲間とか新しい価値を生み出したことを一生懸命、レガシーという形ではなくて、それぞれ皆さんが活躍する場所をつくっていったら、いい100周年事業のコンセプトが完成するのかな」という話を聞いて、いい仲間と一緒に仕事させていただいているなと感じました。

ぜひこれからあと1カ月、今、司会者の松本さんからお話がありましたが、一生懸命楽しみながら、そして、つながった仲間を1人でも大事にしながら、川崎市の101年目、102年目をつくっていただけるように一言お願いをして、総会の冒頭のお礼の御挨拶に代えさせていただきたいと思います。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

## ○司会（富士通・松本）

青木副会長、ありがとうございました。

続きまして、顧問を代表いたしまして、国土交通省都市局公園緑地景観課緑地環境室長、望月一彦様より、御挨拶いただきたいと存じます。

## 5 顧問挨拶

### ○国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長 望月一彦氏

皆様、おはようございます。僭越（せんえつ）でございますけれども、顧問を代表してということで一言御挨拶申し上げたいと思います。

まず、第6回の総会に、川崎市長様はじめ関係者の皆様方には、私どもをお招きいただきまして大変ありがとうございます。

また、先ほど市長様より御紹介がありましたけれども、全国初めての2期にわたる開催、その後半戦となります、「春のフェア」が先日から開催をされておりますこと、誠におめでとうございます。

まだ三寒四温が続く今日このごろでございますけれども、新緑あるいはお花見、こういったことで花と緑に触れ合う、高揚感が高まるこの春の時期に、昨年秋に続きまして再び国内最大級の「花と緑の祭典」、これを開催いただけることにつきましては、都市緑化意識の高揚を目的の一つといたします、「全国都市緑化フェア」として大変意義深いというように考えてございます。2期開催のメリットを生かした素晴らしいフェアになる事を期待しているところでございます。

この「かわさきフェア」は市制100周年の象徴的事業として開催いただいております。30日間

にわたって開催された「秋のフェア」におきましては、富士見公園、等々力緑地、生田緑地におきまして、それぞれ多様性、体験体感、歴史文化と緑というものを掛け合わせて、川崎らしい新しい緑の価値を演出されて、90万人を超える大変多くの方々に御来場いただいたと伺っております。

各会場におきましては、様々な団体あるいは企業、大学、先ほど来、市長様、それから、議長様から御紹介いただきましたけれども、期間中あるいはその準備の期間中、どんどんそういった団体が増えていったというように伺っておりますが、そうした方々と連携し、さらには新しいボランティアの団体も形成をされたということで、様々な形で緑を生かしたイベントあるいは展示などにチャレンジをされて、ウェルビーイングというものが何かということを実感できる、新しい緑の形を提案されていたのではないかなと思っております。

また、会期中には涌井先生にも御登壇をいただいた、緑の価値を伝えるフォーラム、あるいは各種のシンポジウム、そして、佳子内親王殿下の御臨席を賜りました「全国都市緑化祭」の式典などが行われまして、都市の緑を確保する事の意義、これにつきまして参加された方々の皆様の理解が一層深まって、さらに全国へと発信出来たものというように考えてございます。

改めて、本日お集まりの実行委員会の構成員の皆様方、そして、市役所の皆様方、なにより様々なチャレンジに率先して取り組んでいただいております市長様に、この場をお借りして感謝を申し上げます。

「春のフェア」におきましては、少し先の未来の姿、これをイメージしたテーマが各会場において設定されているというように伺っております。秋の取組の成果を踏まえまして、緑のまちづくりが次の100年に向けたレガシーとなる取組へとつながって、「市制100周年記念事業」を締めくくるとにふさわしいフェアとなりますこと、そして、その取組の成果が開催まで2年となりました2027年 国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」、こちらにもつながっていくことを祈念しているところでございます。

結びとなりますけれども、本総会の盛会、「全国都市緑化かわさき～春のフェア～」の大成功、そして、皆様方の御多幸・御健勝を祈念いたしまして私からの御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

## ○司会（富士通・松本）

望月様、ありがとうございました。

続きまして、第6回総会を開会させていただきます。

会則第9条、20条に基づき、議事進行については会長の福田市長にお願いいたします。

## 6 報告

### ○会長（福田川崎市長）

それでは、議事を進行してまいります。

報告第1号「川崎市市制100周年記念事業の取組」について説明をお願いいたします。

### 【報告第1号：川崎市市制100周年記念事業の取組について】

#### ○実行委員会事務局 金井担当課長

—「川崎市市制100周年記念事業の取組について」を説明

#### ○富士通株式会社 大野氏、oasisU 浅野氏、大谷氏

—「川崎市オープンデータコンペの取組」について説明

## ○会長（福田川崎市長）

ありがとうございました。本当に年間を通じまして、様々な方々が多彩な事業を繰り広げていただいた事に改めて感謝を申し上げたいと思います。

富士通さんのオープンデータコンペも素晴らしい、グローバル企業がすごくローカルに密着して取り組んでいただいたということで、心から感謝を申し上げたいと思います。

ただ今の説明について何か御質問などありましたらよろしくお願ひします。

よろしいでしょうか。

それでは、よろしければ次の報告に移らせていただきます。

## 報告第2号：全国都市緑化かわさきフェアの取組について

### ○会長（福田川崎市長）

続いて、報告第2号「全国都市緑化かわさきフェアの取組」について説明をお願いします。

### ○実行委員会事務局 岸担当課長

—「全国都市緑化かわさきフェアの取組について」を説明

### ○Midoriba 齋藤氏、福本氏、丸山氏

—みどりの共創プロジェクト「midori-ba」を説明

### ○会長（福田川崎市長）

ありがとうございました。

緑の共創プロジェクトから生まれて、ここからまた新たなコミュニティが生まれていくと良いと思います。

新しい言葉が「みどりのライト層」、みどりには関心があるけれども、なかなか関わる機会がない、みどりのライト層が多く存在すると。それをつなげていこうということで、皆さん、会員募集、関わりたい方、どうぞということでもありますので、ぜひ御参加いただければと思っております。ありがとうございました。

それでは、第2号の説明とこの共創プロジェクトについて、何か御意見・御質問がありましたらよろしくお願ひします。

### ○川崎市福祉サービス協議会（森山会長）

川崎市福祉サービス協議会会長の森山と申します。いつもお世話になっております。ありがとうございます。素晴らしい内容で見ながら感心していました。

一つ聞きたいのは、61、62ページでございまして、来場者についてのアンケートを行いましたとあります。一番下の所に「3会場とも、40歳以下が3割程度」と書いてあるのですが、さっと見ると、30歳から59歳までがすごく多いような感じがいたします。

普通なら、30から59歳のこの一番多いところをターゲットに「これだけ比率が多いですよ」というのは分かるのですが、どうして40歳以下にしたのかをお聞きしたいのです。お願ひします。

### ○実行委員会事務局 岸担当課長

緑化フェア自体が、まさにおっしゃられているとおり、いわゆる高齢者から少し上の世代の方が非常に多く来られる、もともとターゲット層というところの層でございまして、「かわさきフェア」としては、そちらの層は一定来ていただけることは想定していたのですが、それ以下の若い方がどれだけこういったみどりに関心を持っていただいて、会場に足を運んでいただけるか

というところを少し大事に考えておりましたので、ここの数字が少し大きいということについて、今回お話をさせていただいたというところでございます。以上でございます。

○川崎市福祉サービス協議会（森山会長）

ありがとうございます。

○会長（福田川崎市長）

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

○かわさき若者会議（神領氏）

「全国都市緑化かわさきフェア」についての「midori-ba Fes」について、一点お伺いしたい点がございます。

現在、「midori-ba Fes」に御協力いただいている若い世代、20代から30代の方たちの御協力は実際、今のところいらっしゃいますか、という質問なのですが、よろしいでしょうか。

○midori-ba（齋藤氏）

私たちの活動に賛同してくれている大学生とかはまだ個々ですけれども、参加していただいております。それから、明治大学の学生農場の方たちも今回の「midori-ba Fes」に参加していただいております。

私たちが大事にしていることというのは、midori-baに参加しているメンバーがやりたいことを各々それぞれが実現出来る場所であればいいと思っているところもありまして、もし御興味があれば私たちの仲間になってほしいですし、また、他の方たちもどんどんつないでいて、川崎市内でmidori-baと言えるところをどんどん増やしていく、そういう仲間に、ぜひ一緒にいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○かわさき若者会議（神領氏）

ありがとうございます。

○会長（福田川崎市長）

よろしいですか。ぜひ御参加の程、輪を広げていただければと思います。よろしく願います。

他はいかがでしょう。それではよろしいでしょうか。

それでは、「報告事項」については以上となります。「事業紹介」いただいた皆様、ありがとうございました。

## 7 議事

○会長（福田川崎市長）

続いて、議案に移ります。議案第1号「Colors, Future! Actions推進ビジョン骨子（案）」について、説明をお願いします。

### 議案第1号：Colors, Future! Actions推進ビジョン骨子（案）について

○実行委員会事務局 石井担当課長

—「Colors, Future! Actions推進ビジョン骨子（案）」を説明

○会長（福田川崎市長）

ただ今、市制100周年のレガシーの考え方であり、「Colors, Future! Actions推進ビジョン骨子（案）」について説明させていただきました。これについて何か御意見・御質問があります方、挙手いただければと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、よろしければ、議案第1号について、拍手をもって御承認いただければと存じます。

（拍手をもって承認）

ありがとうございました。

それでは、ただ今、議案第1号については、決定とさせていただきます。

続いて、議案第2号、議案第3号及び議案第4号、第5号ということで4つの議案について、それぞれ説明いただきたいと思います。お願いします。

議案第2号：令和7年度 事業計画（市制100周年記念事業）（案）について

議案第3号：令和7年度 収支予算（市制100周年記念事業）（案）について

議案第4号：令和7年度 事業計画（全国都市緑化かわさきフェア）（案）について

議案第5号：令和7年度 収支予算（全国都市緑化かわさきフェア）（案）について

○実行委員会事務局 金井担当課長

—「議案第2号「令和7年度 市制100周年記念事業の事業計画（案）」、議案第3号「収支予算（案）」について」を説明

○実行委員会事務局 岸担当課長

—「議案第4号「令和7年度の緑化フェアに関する事業計画（案）」、議案第5号「令和7年度の緑化フェアに関する収支予算（案）」について」を説明

○会長（福田川崎市長）

ありがとうございました。

100周年事業と「緑化フェア」、両方の6年度決算と7年度事業計画、そして、予算と、一括して説明させていただきましたけれども、皆様から御意見・御質問ありましたらお願いしたいと思います。

○川崎市福祉サービス協議会（森山会長）

説明ありがとうございます。川崎市福祉サービス協議会 会長の森山 典明でございます。本当にありがとうございます。色々と説明を聞きまして、私、質問というか、希望でございます。

実は当協議会の会員から今回の件で車椅子を50台弱お貸ししているのです。ですから、終わった後に、一覧表でも何でもいいのですが、「これだけありがとうございました」をやってもらえると当協議会も、また皆さん、会員が張り切って協力させていただけるとお思いますので、それは希望でございます。よろしく願いいたします。

○会長（福田川崎市長）

ありがとうございます。報告書の中でも、しっかりと触れさせていただきたいと思います。他にございますでしょうか。

○川崎市青少年育成連盟 川崎海洋少年団（福田団長）

川崎市青少年育成連盟の福田と申します。

今、131ページと、それから、130ページですけれども、予算の関係で、決算と予算なのですけれども、収支決算見込が今、「計」のところを見ますと、4,332万6,943円が残で、そのうち2,400万円を翌年度に繰り越したということで、7年度にこの2,400万円が来ているのですけれども。

それで、この「支出」のところを見ますと、この2,400万円をこの事業費の方に充当しているということだと思います。それと、それはどのように予算上、考えられたのか。

それから、あと、4,332万6,943円ですけれども、そのうち2,400万円を翌年度に繰り越して充当しているようだけれども、残りの使い道はどのようにお考えになっているかを御説明していただければと思います。

○実行委員会事務局 金井担当課長

131ページをご覧くださいまして、「収入」のところの決算見込額が2億2,647万1,057円、それから、決算見込額の計のところ、2億247万1,057円、こちらの差額が2,400万円でございます。

今、申し上げられました4,300万円というのは、支出の予算額と決算見込の差額が4,332万6,943円ということでございまして、収入の方もマイナスがございまして、翌年度に繰り越す額については、収入の決算見込額の計と支出の決算見込の額の計、こちらが2,400万円となっておりますので、この2,400万円を令和7年度に繰り越すものでございます。

支出の欄の「差引」のところにある4,332万6,943円というのは当初の支出の予算額と決算の差でございまして、支出における予算と決算の差が4,332万6,943円というところでございます。

今年度、お財布に残る額といたしましては2,400万円程度を見込んでいるところでございまして、来年に繰り越すことが出来るのは現に残っている2,400万円程度ということを見込んでいるところでございます。

○川崎市青少年育成連盟 川崎海洋少年団（福田団長）

ありがとうございます。

○会長（福田川崎市長）

他に、ありますでしょうか。

○特定非営利法人 多摩川干潟ネットワーク（佐川理事長）

多摩川干潟ネットワーク 代表の佐川 麻理子と申します。本日はとても丁寧な説明、ありがとうございました。

「緑化フェア」、秋と春という事で、春、短い期間ですけれども、終了するかと思うのですが、これからなのですけれども、もうすぐ終わってしまうから非常に残念だなという気持ちもありながら、閉会まで迎えたいと思います。

その後のみどり、緑化というのは、このイベントの期間だけではなくて、その先につなげる、みどりということで、今、私たち、とても課題を抱えています。

みどりがなくなり、緑地がどんどん減っていく中で、ぜひこの緑化を機会に、水とみどりをつなげるという物理的な基盤になると思うのですけれども、植林であるとか、木を植えるとか、そういったことに、ただ期間中、花を植えて愛でて心が満たされる、それだけではなくて、つなげていくみどり、未来のみどり、子どもたちに向けたみどりということで継続、何かすることがあ



ったら、御検討いただければ非常にありがたいと考えます。以上です。

#### ○会長（福田川崎市長）

ありがとうございました。

まず、日ごろからの活動、とても感謝しています。それから、今、従来からずっと申し上げているのは、これをイベントで、1年で終わってしまったらいけないので、これをどうやって継続・発展させていくかということにあります。

ですから、例えばこれまで関わっていなかった若い世代の人たちにどう、みどりだとか、あるいは水辺だとかに関わって頂くとかこういう機会を、先ほど報告していただきましたmidori-baさんみたいな形でいろいろなネットワークをつないでいくという、そういったことを令和7年度以降しっかりやっていきたいと思っています。以上です。

#### ○特定非営利法人 多摩川干潟ネットワーク（佐川理事長）

よろしく願いいたします。ありがとうございます。

#### ○会長（福田川崎市長）

その他に、ございますでしょうか。

特にないようでありましたら、議案第2号、第3号、第4号、第5号を決定させていただきたいと思いますが、拍手をもって承認いただけますでしょうか。

（拍手をもって承認）

ありがとうございました。

それでは、そのように決定させていただきます。円滑な議事進行に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。

## 8 閉会

#### ○会長（福田川崎市長）

ここで、顧問の先生方からも全体を通じてのコメントをいただければと思いますけれども、藤嶋顧問と、それから、涌井顧問の順番でそれぞれにコメントをいただいてもよろしいでしょうか。

#### ○藤嶋顧問

御紹介いただきました藤嶋です。今日はこの一年間、本当に川崎は素晴らしいなというのが一番の実感であります。

最初にスタートした時、川崎は100年前に5万人でスタートしたというのを伺い、また、皆さんもご存じのとおり、「公害のまち・川崎」だったわけですけれども、今では、今のお話のようにきれいな空気、きれいな水、そして、みどりがあふれる川崎になっていくという、本当に素晴らしいまちになってきたなどに思っております。

文化が香る、そして、スポーツが活発であり、科学技術の最先端に行く川崎ということでありますので、よく、「日本で一番住みたいまち」はどこかという一つの例としては、武蔵小杉などが挙げられることがありますけれども、今日ずっと伺っていても、川崎全体が最も住みたい市ではないかなというのを私自身は実感しております。

人口も今154万人くらいですか、155万ですか、どんどん増えていって、私も伺っていると、小学校も全国的には廃校だとか統合だとか色々ありますけれども、川崎はこの4月1日にまた新しい小学校が出来るとのことです。

新小倉小学校が115番目の小学校として開校するという、その発展する川崎の素晴らしさということでありまして、私も川崎に住んでいて良かったなど、これからもずっと皆さんと一緒に楽しく過ごしていきたいなと思っているのが私の今日の感想であります。どうもありがとうございました。

## ○涌井顧問

涌井でございます。皆さん、どうもありがとうございました。

今日の第6回の総会の御報告を伺ってしみじみ感じたのは、これは終わりの始まりであるということでもあります。

すなわち、ここで全てのものが終わっていくのではなくて、この運動量、エネルギーをどうやって未来につないでいくのか、これが非常に重要なことだろうと思っております。

「いろいろって、未来。」という言葉の中に含まれている、多様性の尊重であるとか、この年代がないまぜになって、とりわけ若い人に焦点を絞った活動の仕方、そして、そういうものを持って、みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまちという川崎をどう実現するのかということの非常に重要な、いわばジャンプ台のようなものでありまして、ここでどれだけ未来に飛翔していくのかということが非常に大事なのだろうなという気がいたします。

私は専門の立場からグリーンコミュニティー、つまり、この命というもので、みどりとつながりながら、地球の持続的な未来を考えていく必要性がますます高まっていると思います。

そういう中でmidori-baさんのような新たな未来への種が生まれたということ自体、大変誇るべきものだと思っております、感慨深い思いで今日拝聴したという次第であります。

ぜひ市長さんにもお願いをしたいと思っております。終わりの始まりにさせていただきたいというようにお願いをしたいと思っております。ありがとうございました。

## ○会長（福田川崎市長）

どうもありがとうございました。

皆さん、御案内の方も多いと思っておりますけれども、顧問としてお務めいただきました、斎藤 文夫様が昨年11月に御逝去されました。川崎のために限りない力を尽くしていただいた方でありまして、斎藤さんの御遺志もしっかりと継いで、今、涌井先生がおっしゃっていただいたように、これをジャンプ台として、より前に向けて、新しいチャレンジをやりたいなと思っております。

後ほどあると思っておりますけれども、今回が総会終了でございます。また夏、8月か9月にありますので、今日お示した推進ビジョンの案、骨子ということになっておりますので、それをまた次に向けての取組というのがございますので、今日が終了ではないということで、引き続き皆さんの御指導をいただければと思っております。

それでは、司会に進行を戻したいと思っております。よろしく願いいたします。

## ○司会（富士通・松本）

皆様、ありがとうございました。

閉会にあたり、公益財団法人都市緑化機構 専務理事、椰野 良明様に御挨拶をお願いしたいと存じます。椰野様、よろしく願いいたします。

### ○都市緑化機構理事長代理：専務理事 榑野 良明顧問

ただ今御紹介いただきました、都市緑化機構の榑野でございます。

本日は実行委員会の顧問、役員、委員、参与の皆様におかれましては御多用の中、「第6回総会」に御出席賜り、誠にありがとうございました。

また、「かわさきフェア」関連の各議案につきまして、御承認を賜り、心より御礼を申し上げます。

さらに、富士通さん、また、midori-baさんの御報告、大変素晴らしい報告をいただきまして、感謝申し上げますところでございます。

さて、御案内のとおり、「かわさきフェア」の春の部が開催されております。2期開催という初めての試みとなりますが、秋開催とは、ひと味違った春の装いを施した美しい花壇などが広がっております。

94万人という方が秋開催でも御来園いただきましたが、各会場においても春の訪れを実感できる設えとなっております、この春開催においても多くの方に楽しんでいただけるものと考えているところでございます。

今回の「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア」につきましては、大変多くの市民、企業の方に参加していただきました。先ほど御紹介ありましたように、397団体の方が参加されたということで、非常に素晴らしかったのではないかと思います。

また、今回の「かわさきフェア」に関しては、先ほども御紹介いただきましたmidori-baさんであるとか、その他にも新たなみどりのコミュニティ、そして、みどりの輪が創出されたのではないかと考えております。これらは、これからの川崎市の大いなるレガシーになるものと期待しているところでございます。

結びに、このフェアが「川崎市市制100周年記念事業」の集大成として大成功を収めますこと、そして、次の100年に向けて新しい川崎の華やかな門出となることを御祈念申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

### ○司会（富士通・松本）

ありがとうございました。

以上をもちまして、「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会第6回総会」を閉会といたします。

なお、事務連絡がございました。

100周年の事業期間は3月末で終了となりますが、緑化フェアは4月13日までの開催となります。また、100周年のレガシーについては次回の総会で図ることとしておりますので、8月から9月ごろに第7回総会の御案内をさせていただきます。日時や開催方法など詳細は改めて御連絡を差し上げます。会場御出席の皆様、オンライン御出席の皆様、本日はありがとうございました。

— 了 —